



# アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA



6月11日(水) お米の出前授業を実施(市川市立大野小学校)

私たち全農グループは、**生産者と消費者を**  
**安心で結ぶ懸け橋** になります。



## CONTENTS

### 食と農を未来へつなぐ。

- 土壌診断で品質向上・施肥コストの最適化を

### 営農情報

- 園芸品目の高温対策について

### 園芸情報

- 販売経過および情勢

### 米穀情報

- 米穀情勢

### 肥料情報

- 園芸向け一発肥料

### 資材情報

- 農業用ハウスにおける台風対策について

### トピックス

- 県内小学校でお米の出前授業を実施！
- メロン一斉消費宣伝を実施！
- 株式会社東急ストアによる房総ポーク産地視察
- 第33回 J A 千葉県酪農対策連絡協議会総会を開催

### お知らせ

- 千葉県肥料価格高騰緊急支援事業



JA全農ちばの取組状況  
営農園芸事業

# 土壌診断で品質向上・ 施肥コストの最適化を

## 1. はじめに

JA全農ちばは、営農技術センター（成田市）にて土壌診断を実施しています。圃場の養分状態を把握し、適正施肥をすすめ、作物の収量・品質の安定、施肥コストの低減に取り組んでいます。

## 2. 土壌診断のメリット

土壌診断は、いわば「土の健康診断」です。定期的実施することで、以下のようなメリットがあります。

- メリット1** 施肥量の最適化により、無駄な肥料を使わずコストの低減につながる！
- メリット2** 養分バランスを数値で把握し、生理障害等の軽減・防止につながる！
- メリット3** 品質・収量の安定化と、長期的な土づくりの指針につながる！

表1. 土壌診断 分析点数の推移（直近5年間）

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
分析点数（点）	6,333	7,175	8,055	9,082	7,509

※2022～2023年には、肥料価格高騰対策事業もあり、土壌診断件数が増加しました。

## 3. 土壌診断結果の活用

特に施設栽培の土壌において、肥料成分が過剰な傾向にあります。例として、千葉県内のトマト圃場における窒素・リン酸の分析傾向を図1で示しました。青い矢印が適正な施肥基準値となりますが、窒素・リン酸ともに半数以上の圃場で基準値を超えた肥料成分が残っています。主な理由としては「施設栽培では降雨による養分流出がないため、土壌中に蓄積していくこと」です。また、たい肥を長年施用した圃場でも同様な傾向が見られます。たい肥には窒素成分だけではなく、リン酸と加里も多く含まれていることが要因となります。

過剰な養分は作物の生育に悪影響を及ぼす場合もありますので、土壌診断の結果を活用した適正施肥を行い、施肥コストの低減や作物の品質向上につなげましょう。

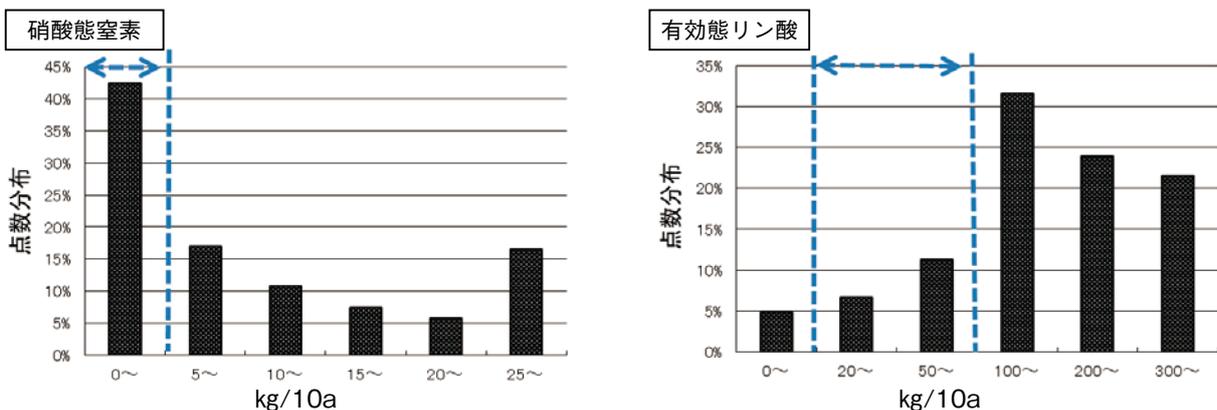


図1. 令和3年度千葉県トマト 土壌分析傾向（点数：417点、平均CEC=30）

# 園芸品目の高温対策について

## 1. はじめに

近年、夏季の高温は深刻化を増しており、千葉県的主要品目であるトマトやねぎ等にも甚大な被害を及ぼしています。

農作物の安定生産のためには、以下の高温・乾燥対策が必要となります。

## 2. 施設野菜（トマト）

### (1) 栽培管理の高温対策

近年の高温条件下においては作物の力を最大限に引き出し、暑さに打ち勝つ草勢管理に努めましょう。高温対策に魔法の薬はありません。以下の栽培管理を活用しつつ、基本技術の励行に努めましょう。

#### ア. 散水・かん水の改善

これまでのトマト栽培では、根をより深く張らせるため、活着～第1果房開花期までかん水は出来るだけ控える管理を行ってきました。しかし、近年の夏季における異常高温・少雨の条件下では、この期間であっても通路かん水、あるいは頭上散水を活用して、積極的に地表面を湿らす散水を行い、空中湿度を上げて気化熱を活用した高温対策を行いましょ。また、かん水は少量多かん水とし、出来るだけ土壌水分の乾湿差を小さくして生育の「波」を作らないことが果実の品質低下を防ぐために重要です。

#### イ. 葉の管理と活かし方

高温の影響を受け、草勢低下等により葉長が短くなったことで葉面積が減り、果実に強い日差しが当たります。それにより果実温度が上昇し、果実の障害が多発しました。このような障害を防ぐために、葉を茂らせて日陰を作り果実温度の上昇を防ぐことが重要です。また、葉を多く残すことで葉からの蒸散による空中湿度を高めることができるので葉を有効的に活用しましょう。



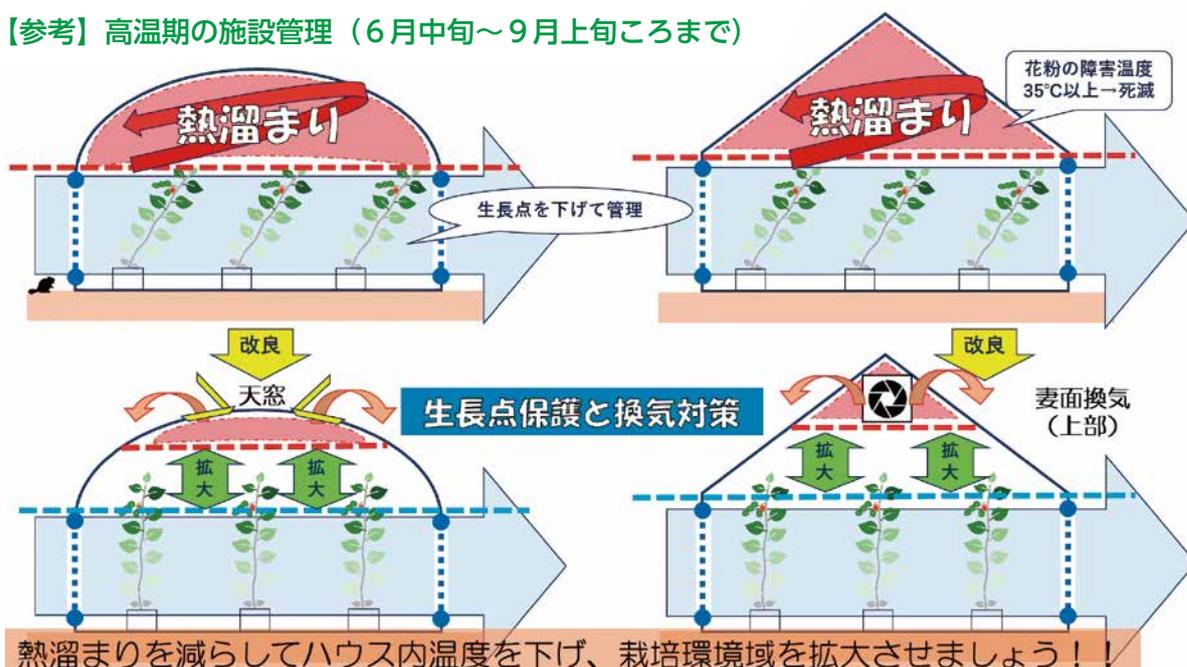
## (2) 施設の高温対策

施設の高温対策のポイントは「換気」、「遮光」、「冷却」で構成され、これらの組み合わせをトータルで取り組むことが重要です。しかしながら、コストがかかることなので、できるメニューから取り組みましょう。

### ア. 換気

換気の開口面積の最大化に努めましょう（側窓全開、妻面換気、肩換気）。特に天窗のないハウスでは上部の温まった空気を抜くことが重要になるので、側窓の換気面積を最大化して対策しましょう。

#### 【参考】高温期の施設管理（6月中旬～9月上旬ころまで）



### イ. 遮光

遮光には遮光フィルム・ネットを展張するタイプ、遮光剤の吹き付けタイプがあり、近年の高温下では遮光率40%前後を推奨します。遮光開始のタイミングは近年の暑さを鑑みると早期（定植1週間以上前）に展張し、定植時の地温をできるだけ下げ、活着促進することが上記の栽培管理においても重要になります。しかし、年によっては梅雨の長雨に遭遇する場合もあるため、天気の詳細予報などを活用して展張のタイミングを判断しましょう。

### ウ. 冷却

冷却方法には頭上散水や屋根散水などの水の気化熱を利用する冷却が主流です。頭上散水は作物の上部から散水する方式で、作物が濡れるため病害を助長する場合がありますが、夏季高温時には短時間で乾くため高温対策として有効です。

屋根散水は屋根全面が濡れるようにかん水チューブを設置します。前述の外部遮光ネットと併せて設置することで、効率よく全体を濡らすことができるため効果的です。

園芸情報

# 販売経過および情勢

## 青果物 6月の販売経過

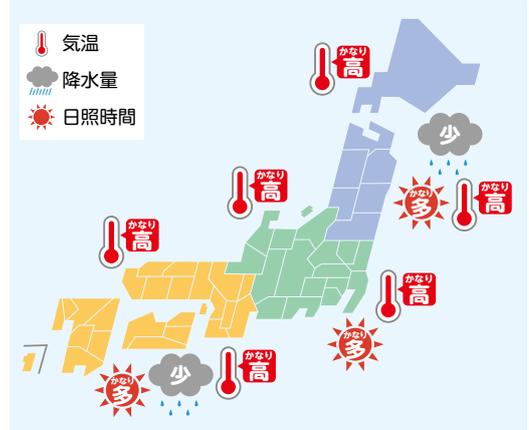
6月の天候は、全国的に記録的な高温となり、月平均気温は1898年統計開始以来6月として歴代1位の高温となりました。降水量は、北日本太平洋側および西日本太平洋側でも少なめとなりました。日照時間は、太平洋側でかなり多く、北日本の太平洋側では統計開始以来6月として1位の多照を記録しました。

東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は、105,930トン（前年比99%）となりました。記録的な猛暑の影響から生育不良や品質低下が一部品目で散見され、入荷量が不安定となる品目もみられました。品目別に入荷量では、**ばれいしょ類**（前年比134%）、**たまねぎ**（前年比110%）などが増加しました。一方、**ブロッコリー**（前年比87%）、**ピーマン**（前年比88%）、**だいこん**（前年比89%）などは、6月の記録的な暑さの影響から減少しました。

価格は1kgあたり290円（前年比103%）となりました。**だいこん**（前年比124%）、**きゅうり**（前年比144%）、**ピーマン**（前年比120%）、**ブロッコリー**（前年比116%）は出荷量が少なかったことで前年を上回りましたが、**ばれいしょ類**（前年比53%）、**にんじん**（前年比82%）、**キャベツ類**（前年比86%）、**たまねぎ**（前年比87%）は出荷量が多く、猛暑の影響から需要も鈍く前年を下回りました。

同市場の果実全体の入荷量は、21,031トン（前年比93%）となりました。うち国産果実は18,033トン（前年比91%）、輸入果実は2,998トン（前年比110%）となりました。国産果実では、特に**びわ**（前年比279%）は春先の天候不順の影響により生育が遅れ、入荷並びに増量ペースが後ずれしました。他果実は、交配時期に天候不順の影響を受けたことにより着果不良となり、**アンデスメロン**（前年比74%）、**こだますいか**（前年比86%）などが減少しました。

国産果実全体の価格は1kgあたり612円（前年比106%）となりました。**レノンメロン**（前年比122%）、**デラウェア**（前年比113%）、**アンデスメロン**（前年比110%）は前年を上回りましたが、**王林**（前年比86%）は前年を下回りました。



### 東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（6月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	105,930	99	290	103
果 実	21,031	93	575	104

### JA全農ちばの販売状況（6月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	26,464	92	165	96	4,376	88
果 実 計	5,546	90	291	105	1,615	94
だいこん	1,470	72	68	111	101	80
にんじん	5,022	91	171	82	860	74
キャベツ	11,373	93	69	81	782	75
ほうれん草	21	67	466	111	10	74
ね ぎ	967	106	383	104	370	109
パ セ リ	34	95	767	91	26	87
きゅうり	782	95	264	153	206	144
ト マ ト	1,176	91	246	101	289	92
とうもろこし	571	88	280	115	160	101
メ ロ ン	747	81	535	114	400	93
す い か	4,751	91	238	102	1,133	93

# 7月主要品目

## 作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は東京都中央卸売市場の集計です

品目	入荷量 (t)		単価(円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	並	15,546	並	77	群馬 岩手	各産地ともに生育は概ね順調。群馬は中旬に出荷の最盛期を迎え、岩手も順調な出荷が見込まれる。入荷量は概ね前年並みで価格も前年並みを見込む。
だいこん	並	6,918	並	89	北海道 青森	今後の天候次第ではあるが、北海道・青森の生育は順調なため、前年並みの入荷量が見込まれる。販売環境は厳しく、価格は平年をやや下回った前年並みを見込む。
にんじん	やや少	5,059	並	181	千葉 青森 北海道	主力産地が関東産から東北産へ切り替わる。青森は細物傾向、北海道は生育にやや遅れが見られることから前年を下回る入荷量となる見込み。価格は前年並みを見込む。
トマト	並	6,451	並	362	北海道 青森 岩手	主産地が熊本・栃木などの冬春産地から北海道・東北産などの夏秋産地へ切り替わる。夏秋産地の生育は順調に推移しており、出荷量・価格ともに前年並みを見込む。
きゅうり	並	6,305	やや安	380	福島 岩手 秋田	前年同様に関東産の切り上がりは早い見込み。東北産の露地作は中旬以降本格化し、前年並みの入荷量を見込む。露地作の増加に伴い、価格は前年を下回る見込み。
ねぎ	やや多	3,366	やや安	336	茨城 千葉	茨城・千葉の生育は順調となり、下旬以降は北海道・青森からの出荷量が増加する見通し。販売環境厳しく、給食需要もなくなることから、軟調な販売展開が見込まれる。
ほうれん草	並	752	並	701	群馬 栃木	主力産地の生育は順調だが、気温上昇の影響を受け下旬以降の出荷量は減少する見込み。販売は、出荷量減少により前年並みの販売展開となる見込み。
パセリ	やや少	43	やや安	1,194	長野 千葉	後続産地の長野の入荷量は増加するが、関東産は暑さの影響を受け減少傾向となる。価格は、引き続き業務需要の低迷を受け、軟調な販売が続く見込み。
とうもろこし	並	4,541	並	254	茨城 群馬 千葉	関東産の生育は一部で遅れが見られるものの概ね順調。露地物は上旬に出荷の最盛期を迎える見込み。各産地からの出荷量は概ね前年並みで、価格も概ね前年並みの見込み。
枝豆	並	1,076	並	985	群馬 千葉 埼玉	各産地で春先の曇天・低温の影響から一部で生育の遅れが散見されたが、その後回復傾向となり概ね順調。総体的に安定した入荷が見込まれ、数量・価格ともに前年並みを見込む。
メロン	やや少	3,106	並	531	山形 千葉 茨城	各産地の生育は順調であるものの、大玉傾向であった前年の出荷量はやや下回る見込み。これまで高値反動の影響から、販売環境は厳しく価格は前年並みを見込む。
すいか	やや少	10,916	並	243	山形 新潟 千葉	近在産地は作付減と5月の低温の影響で出荷量が少ない見込み。東北産など後続産地の出荷はやや遅れるが、6月下旬に価格が上伸したため、緩慢な荷動きを見込む。

# 花 販売情勢

## ◆6月の販売経過【切花】

本年は、春先の夜温が平年よりも低かった影響により、遅れていた暖地からの出荷が増加したことに加え、高冷地からの出荷も始まったことから月を通して前年を上回る入荷量となりました。

販売については、月前半は父の日に向けて、量販・小売店でヒマワリを中心に黄色系・オレンジ系の品目の需要が高まり、安定した販売となりました。父の日以降になると、需要が落ち着き、また、急激に気温が上昇したことから量販店・小売店において客足が減少したため、動きが鈍く厳しい販売となりました。月末にかけては、北海道・東北産からの出荷が増加する中、物価高の影響から嗜好品である花の一般消費が鈍い状況が続いたため、平年安での販売が続きました。

## ◆今後の見通し（8月）【切花】

主力となる高冷地においては、春先の夜温が低かったことから一部品目で若干の生育遅れが見られました。また、この時期は台風等の天候にも左右されるため、不安定な入荷となることが懸念されます。

販売については、8月盆需要により、中旬にかけて墓参り等で使用する菊などの仏花商材に動きが出る見込みです。その他に大きな需要はないものの、本年も前年と同様に猛暑となる予報が出ているため、生育不良から月を通して不足感が強まり、安定した販売になる見込みです。



## ◆今後の見通し（8月）【品目別】

品 目	作 柄 お よ び 概 況
ヒ マ ワ リ	北海道・新潟・福島・千葉などからの入荷。 今後の天候次第ではあるものの、各産地とも生育は順調に推移しているため、安定した入荷を見込む。 季節商材として動きが出る見込み。
トルコキキョウ	北海道・山形・福島・長野などからの入荷。 各産地で生育が遅れており、出荷の後ろ倒しにより、8月の入荷量は平年を上回る見込み。 業務需要を中心とした販売になる見込み。
千 日 紅	千葉を中心とした入荷。 生産量が年々減少傾向であるため、平年を下回る入荷を見込む。 8月盆を中心とした販売になる見込み。
ケ イ ト ウ	愛知・新潟・千葉などからの入荷。 各産地、概ね生育は順調に推移しているため、入荷量は平年並みを見込む。 8月盆商材として動きが出る見込み。

## 米穀情勢

## 1. 千葉県の生育状況（2025年6月27日現在）

- (1) 6月第3半旬以降、気温日照ともに急激に上昇し、平年より高く推移しています。品種問わずに水管理が重要な時期となっていますので、品質面等を考慮し湛水管理をお願いします。
- (2) コシヒカリの生育は、草丈がやや長く、茎数は平年並み、4月20日植えは葉色がやや濃く推移しております。今後、高温が続くことが予想されますので、白未熟粒の発生に注意してください。
- (3) また、生育進度は植付時期、品種により多少違いがありますが、概ね平年並みとなっています。しかし、今後気温の上昇に伴い、生育進度が変化する可能性がありますので、出穂の状況を確認し、収穫適期となった場合は速やかに刈り取りましょう。

【表1】 品種別の生育状況（幼穂形成期時点）

品種	植付け時期	平年比※1			
		生育進度※2	草丈	茎数	葉色
ふさおとめ	4月20日	並	やや長	やや少	やや濃
ふさこがね	4月20日	並	やや長	やや少	並
コシヒカリ	4月20日	並	やや長	並	やや濃
	5月1日	やや早	やや長	並	並
粒すけ	4月20日	やや早	並	並	やや濃

※1 平年比は過去10か年（2015～2024年）の平均値との比較。

※2 幼穂形成期の実績値および予測値により判断

## 2. 政府備蓄米の動向について

## (1) 入札備蓄米の動向

- ア. 本会は1回～3回目入札で296,195トン进行落札し、全量を販売先と契約しています。
- イ. 7月10日現在の販売状況について、出荷済み数量は1回～3回の合計で236,930トンと、進捗率は80.0%になりました。

【表2】 本会の政府備蓄米入札（第1回～第3回）落札分の販売状況（7月10日現在）

1. 落札数量	296,195トン	
2. 販売先との契約数量	296,195トン	
3. 販売先からの出荷依頼数量 ※1		
4月出荷分まで	55,112トン	
5月出荷分	74,469トン	
6月出荷分	86,727トン	
7月出荷分	51,110トン	
8月出荷分	6,212トン	
合計	273,630トン	(進捗率92%)
4. 出荷依頼待ち数量	22,565トン	
5. 出荷済み数量	236,930トン	(進捗率80%)

※1 出荷依頼数量は米穀卸からの依頼に応じて増加する可能性があります。

※2 出荷依頼に対し100%出荷

## (2) 随意契約備蓄米の動向

- ア. 農水省が順次審査を進めており、随意契約による売渡しは約29万トンの申し込みが確定しています。
- イ. 農水省は随意契約による政府備蓄米の売り渡しの販売数量を公表しており、5/26～6/8まで16千トンの売渡しが完了したこと、同時期に24事業者、1,945トン（1,768～2,000円/5kg精米換算）の販売があったことを公表しています。
- ウ. また、6/20から令和3年産および2年産を対象に外食、中食、給食事業者からの受付も開始しています。

**【表3】 入札による備蓄米と随意契約による備蓄米**

項目	入札による売渡し（第1～3回）	随意契約による売渡し
年産・数量	5年産17万トン、6年産14万トン 合計31万トン	4年産20万トン、3年産20万トン、 2年産10万トン 合計50万トン
売渡方法	一般競争入札 (5,000トン以上の集荷業者)	随意契約（先着順で契約） ※大手小売業者（年間1万トン以上） 中小小売業者（年間1千～1万トン） 米穀小売店（年間1千トン以下）
受渡方法	国⇒集荷業者⇒卸売業者⇒小売業者	国⇒小売業者
経費負担	保管料、運賃は集荷業者負担	保管料と持込先までの運賃は国負担
売渡価格	1～3回目全事業者平均 20,812円/俵（税抜）	4年産：11,010円、3年産：10,700円、 2年産：9,140円/60kg（税抜）
販売時期	令和7年3月～8月末	令和7年5月～8月末
買戻し条件	あり（5年以内が原則）	なし

## 3. 米をめぐる国・政治等の動向

### (1) 米の増産について

- ア. 石破首相は7月1日に開催された第2回米の安定供給等実現関係閣僚会議において、米の増産について、以下の考えを表明しました。
- ① 今般の米価格高騰の要因や対応の検証を行い、令和7年産から増産を進めていくこと
  - ② 消費者が安定的に米を買うことができ、意欲ある生産者の所得が確保され不安なく増産に取り組めるよう新たな米政策へ転換すること
  - ③ その中で適正な備蓄水準の回復も図っていくこと

### (2) 価格に関する発言

- ア. 石破首相は5月21日の党首討論で高騰するコメの価格をめぐり、「新しい農林水産大臣のもとで、必ず米を下げることをやっていく」と明言し、「（5キロあたり）3千円台でなければならない」と発言しました。
- イ. 森山幹事長が5月21日の千葉市での講演で、生産者が再生産をできる価格で取引されることも重要との認識を示し、その価格については5キロで3,000円から3,500円が妥当との見解を発言しました。
- また、5月31日の記者会見では「5キロで3,000円から3,200円ぐらいただと農家の皆さんもコストに見合うし、また少し利益が出るという計算になるのではないかと」発言しました。

### (3) 価格形成法の成立

- ア. 6月11日、参院本会議で農畜産物の適正な価格形成に向けた関連法（価格形成法）が成立しました。コメを含む全品目の売り手と買い手に価格交渉へ誠実に臨むよう努力義務を課し、取組みが不十分な事業者には、国が指導や勧告などをおこなうことが整備されました。
- イ. 米を含む指定品目については、農家が価格転嫁の根拠にできる「コスト指標」が作成されることとなっており、農水省は来年4月の全面施行に向けて指標の対象品目など詳細を整理していくこととしています。その際、例えば中山間地と平地など地域や栽培方法が違う点における生産コスト指標の細分化をどのようにおこなうか等の課題について、今後整理がおこなわれる見込みです。

### (4) 7年産以降の水稻収穫量調査の見直し

6月16日、小泉農水大臣は米収穫量調査の見直しをおこなうことを表明しました。その内容は次のとおりです。

#### 見直し内容

##### ア. 作況指数の公表廃止

##### イ. 収穫量調査におけるふるい目の変更

（1.70mm→生産者の用いるふるい目（1.80mmから1.90mm等））

##### ウ. 新技術活用

気象データおよび人工衛星データ活用の模索

##### エ. 精度向上に向けた取組み

過度な標本調査依存の調査体系を改め、生産者からの収穫量データを主体とする調査手法に転換すべく検討

## 4. カメムシによる不稔、反転米対策について

近年、イネカメムシが多発生し、出穂時に加害され不稔粉が発生し、大きく減収をしたり、乳熟期に加害され反転米が発生し品質が低下するなどの問題が発生しています。

従来の斑点米カメムシ類との違いは、水田周辺の除草だけでは効果が薄く、越冬場所から離脱した成虫が出穂直後の水田に直接飛来して産卵する特徴があるようです。

イネカメムシ対策には、早めの防除が必要で、出穂期前の粒剤散布又は出穂期のフロアブル剤散布が効果的です。

もう遅いと諦めずに、しっかり防除し、収量維持を目指しましょう。



写真1：斑点米カメムシ類の大きさ比較（右の目盛りは1mm）  
左側から、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、クモヘリカメムシ、イネカメムシ、ミナミアオカメムシ



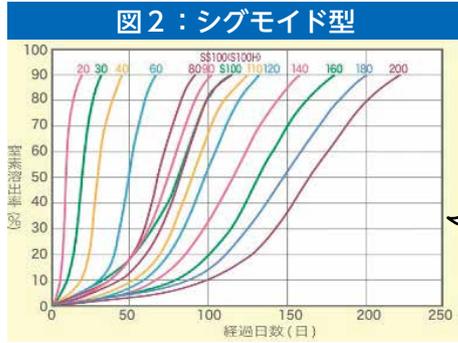
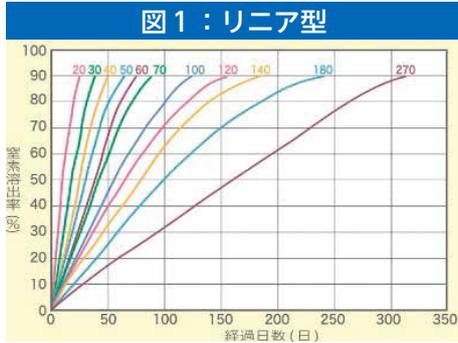
写真2：イネカメムシの被害と思われる不稔被害

肥料情報

# 園芸向け一発肥料

一発肥料

昨今の農業業界では技術が飛躍的に進化し、高機能な肥料が多く流通しています。園芸作物は、基肥+追肥の施肥体系が主流ですが、化成肥料と被覆肥料を組み合わせることで、追肥の削減による労力軽減や面積拡大、減肥によるコスト低減など、生産者にとって多くのメリットが期待されます。



被覆肥料の溶出は2つの種類があり、  
 ・リニア型  
 ・シグモイド型  
 と言います。

月旬	7		8		9		10		11		12-3		4			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
秋冬どり栽培	○—○										収 穫					
施肥	●															
作業	基肥		播種	追肥	灌水											

省略!!



例：秋・冬どり にんじん

**SCねぎ専用047 10-14-7 Mg1**  
 ねぎ基肥一発肥料。  
 圃場に殻が残らない140日タイプの硫黄被覆尿素使用。  
 肥効期間が長い為追肥の省略が可能。

**エコレット一発484 14-8-14**  
 野菜用基肥一発肥料。被覆尿素を使用しており肥効が4~5カ月。豚ふん堆肥27%使用。  
 リン酸過剰な施設野菜や、トマト、ネギ、ニラ、ナバナ、レンコンに最適です。

**SCちば野菜専用711N 17-11-11**  
 野菜用基肥一発肥料。  
 圃場に殻が残らない60日・80日タイプの硫黄被覆尿素使用。  
 硫黄を好むユリ科・アブラナ科等に有効。

**紅一発J 17-16-10 Mg3**  
 秋・冬収穫野菜用(キャベツ、だいこん、にんじん、なばな等)基肥一発肥料。80日タイプの被覆尿素使用。水分によって分解するGIBも配合されている為気温に左右されにくく収穫期まで肥効が持続。苦土が配合されている為実太りが良くなります。

**ニュートマトエース805 8-10-5**  
 トマト用基肥一発肥料。  
 有機・70日、100日、180日タイプの被覆尿素使用。多種にわたる被覆尿素を使用している為追肥作業が軽減でき、粒状配合の為散布が容易です。

**蒼一発J 15-12-12 Mg1 B0.2**  
 春収穫野菜用(キャベツ、だいこん、にんじん、なばな等)基肥一発肥料。40日・60日タイプの被覆尿素使用。冬の低温期でも水分によって分解するSIBが配合されている為安定した肥効を実現。ホウ素が入っている為欠乏症の予防になります。

**エコマスター葱・玉葱専用 14-8-4 15kg品**  
 葱・玉葱専用基肥一発肥料。ハイパーCDU(90日~140日タイプの緩効性肥料)を使用。またその他にも豚ふん堆肥・有機原料・亜リン酸・ケイ酸加里が入っており、15kg品で持ち運びも容易。

詳しい使い方については  
 最寄りのJAにお問い合わせください

肥料情報

**資材情報**

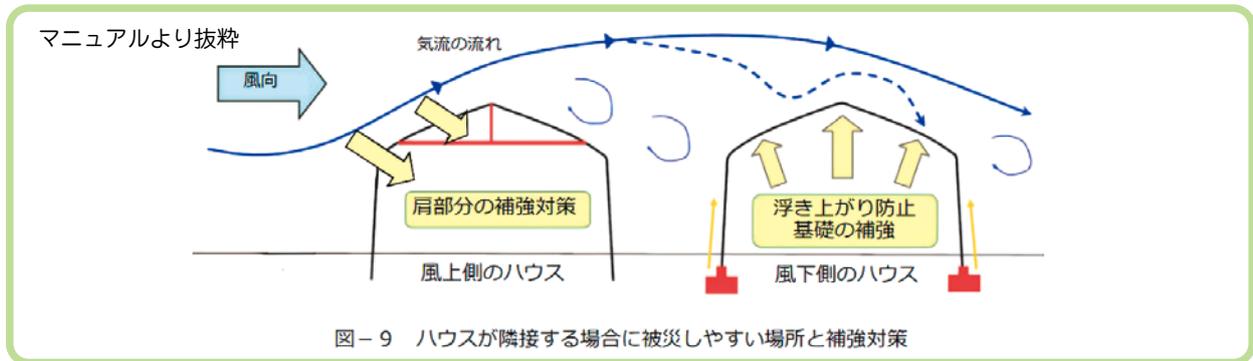
# 農業用ハウスにおける 台風対策について

台風や強風に対し農業用ハウスの被害を最小限に抑えるべく、点検や作業のポイントをまとめましたので、ご活用ください。

## 台風前のチェックリスト

情報収集	①	最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックしていますか。 ※銚子地方気象台では、気象庁の代表的なコンテンツを抽出し、時系列的に整理した分かりやすいリンク集を作成しています。台風情報、注意報・警報、気象情報などのさまざまな情報をこのリンク集より簡単に取得できます。 「千葉県版気象庁ホームページ」 <a href="https://www.data.jma.go.jp/choshi/shosai/data/datalink.html">https://www.data.jma.go.jp/choshi/shosai/data/datalink.html</a>
	②	ハウス周辺から飛来が予想されるものを片付けましたか。
	③	燃料タンクやガスボンベ等はしっかりと固定されていますか。
周辺整備	④	施設周辺の排水溝やハウスの谷樋、縦樋等のゴミは取り除きましたか。
	⑤	タンクにかん水用水を貯水しましたか。
停電対策	⑥	自動換気（天窗、側窓）・遮光カーテンの手動開閉の操作器具や足場は準備できていますか。
	⑦	（発電機を持っている場合）非常用発電機を養液栽培装置、環境制御装置に接続しましたか。
破損・倒壊対策	⑧	被覆材のたるみや破れはありませんか。
	⑨	換気部（サイド部、谷部）、被覆材の隙間等の風の吹き込み口となる箇所はありませんか。
	⑩	ハウスバンド、被覆材の留め金具に緩みはありませんか。
	⑪	ブレースや筋交いの留め具に緩みはありませんか。
	⑫	基礎部、接続部分、谷樋・柱に腐食・サビはありませんか。
	⑬	準備していた斜材を設置するなど応急的な補強はしましたか。
	⑭	ハウスの出入り口の補強（かんぬき等）や戸締りはしましたか。
	⑮	換気扇をまわして排気し、ハウス内を減圧していますか。

「千葉県農業用ハウス災害防止マニュアル」では、様々なハウスの補強対策を紹介しています。



詳細は、下記URL・QRコードからご覧ください。

◆千葉県のホームページ

「農業用ハウス災害被害防止マニュアル」

「千葉県農業用ハウス災害被害防止チェックシート集」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/jouhou/nougyouyouhaususaigaitaisakumanual.html>



◀ホームページはこちらから

## TOPICS

### 県内小学校でお米の出前授業を実施！

J A全農ちばは6月11日(水)、地元の千葉県産米に愛着をもってもらおうと市川市立大野小学校5年生に千葉県の稲作について出前授業を行いました。

授業当日は同校体育館に5学年95名が集まり、J A全農ちば米穀部職員が「千葉県農業の特徴」や「田んぼの役割」等について解説したほか、「米作りのやりがい」や「農業の魅力」について伝えました。

今回の取り組みに対し、同校の土橋弥生校長先生は「先を見通すことができない時代を生きる子どもたちのために今回協力を依頼しました。給食も食育であり、自分が食べるものがどのように生産されているのか学べたと思います。」とお礼の言葉とともに食育教育への想いを述べました。

今後もJ A全農ちばは、積極的に子どもたちへの食育活動に取り組んでまいります。



千葉県産米や農業の魅力について解説する米穀部職員



真剣にメモを取る児童たち

## TOPICS

### メロン一斉消費宣伝を実施！

～ 実施場所はヤオコー、マルエツ、いなげや ～

J A全農ちばは青果市場と連携のもと、6月28日(土)～29日(日)にかけてメロン一斉消費宣伝を実施しました。

当日は最高気温が30度を超える真夏日となりましたが、店内ではメロンやすいか、とうもろこし等の夏果実・夏野菜を手にとるお客さまが多く見受けられました。メロンフェアでの試食販売では、気温高によって熟度が増しており、食味の評価は非常に高いものとなりました。売り場担当者からは、試食販売によって大きく販売量が増えたと嬉しいコメントが寄せられました。

引き続き、J A全農ちばは県産農畜産物の消費拡大に向け、PR活動に取り組んでまいります。



ヤオコー（佐倉染井野店）

## 畜産 TOPICS

①

### 株式会社東急ストアによる 房総ポーク産地へ視察

6月4日(水) 旭市内にて昨年度より房総ポークの主要販売先となった株式会社東急ストア（以下「東急ストア」とします）による房総ポーク産地視察が行われました。視察は農場前視察、意見交換会、試食会の3部構成とし、東急ストアの他、房総ポーク生産者3名、JA全農ミートフーズ(株)、JA全農ちばの4者で実施しました。

農場視察では肉豚のライフサイクルや産子数、体重等を説明。その後の意見交換会では房総ポーク販売促進協議会杉崎会長から「房総ポーク20周年の節目に東急ストアでの販売が開始されたことに運命を感じる。昨年11月に店舗視察を行ったが今年度もより積極的に交流を深めたい」と挨拶をいただきました。

生産者の「こだわりを持った生産は採算が合わない部分もあるが消費者のおいしいという言葉で頑張れる」という想いや、東急ストアの「ブランドを切替えるにあたり、売り場で働く従業員が色々なブランド豚を試食し、一番おいしいと思うものを選んだ。そのため店舗はたくさんお客さまに食べてもらいたいと考えて販売している」という想いを共有することができました。

また、東急ストア大堀社長より「生産者がどれだけ良い豚肉を作っているのか消費者に伝えるのが我々の役目。これからも東急ストアと4者でタッグを組んでやっていきたい」との言葉をいただきました。

今後も、JA全農ちばは東急ストアでの販売イベントや産地交流会などの開催を通じて、協力関係のさらなる強化と発展を目指し、房総ポークの生産・販売をすすめてまいります。



株東急ストア：右から大堀社長、高沢部長、川西常務、飯塚ハイヤー



試食会の様子

## 畜産 TOPICS

②

### 第33回 JA 千葉県酪農対策連絡協議会 総会を開催

JA千葉県酪農対策連絡協議会（事務局：JA全農ちば畜産部）は、6月11日(水) にホテルポートプラザちばにて7 JAから24名が出席し、第33回通常総会を開催。

総会終了後は、乳量情勢報告および優良事例として乳質巡回の紹介、JA全農ちばのコンサルタントによる衛生講習会を開催し巡回指導の結果報告および暑熱対策を紹介しました。今後もJA全農ちばは、酪農家の生乳生産に関する飼養技術向上および販売情勢の共有等、県内生産基盤の維持に取り組んでまいります。



千葉県からのお知らせ



CHIBA

# 千葉県肥料価格高騰緊急支援事業

千葉県肥料価格高騰緊急支援事業のご案内  
～肥料価格高騰の影響を受けている農家の皆様に支援します～

千葉県では、肥料価格高騰の影響を受けている農業者の皆様に給付金を交付します。

## 申請期間

令和7年6月2日(月)～令和7年8月15日(金)まで

- 対象：生産性向上に取り組む農業者
  - ※自ら農産物の生産を行っており、農産物販売額が50万円以上の農業者が対象です。
  - ※申請多数の場合は給付金の額が申請額より少なくなることがあります。

## 【給付金額】

肥料価格高騰額の1/2以内を支援します。  
(上限10万円)

※本給付金の詳細は、専用ウェブサイトでご確認ください。

## 申請方法

◆A～Cのいずれかの方法で申請ができます。

A 郵送申請



B オンライン申請



C 説明会での申請



●申請窓口・相談など

【お問合せ先】 千葉県肥料価格高騰緊急支援事務局

郵送・お問合わせ先 〒260-0031 千葉市中央区新千葉2-12-1 第11東ビル3階



0120-975-335

平日 10:00～19:00

※休業日：土・日・祝日

【専用ウェブサイトのURL】 <https://jimukyoku.site/chiba/hiryoshien/>

千葉県 肥料 支援

検索

お知らせ

# 水 稲

## 今年は特に注意！ 適期収穫の徹底について ～刈り遅れによる等級低下を未然に防ぐために～

本年も高温と空梅雨により、登熟が想定より前倒しになる心配があります。

昨年発生が散見された、茶米や胴割粒の多発は刈り遅れが要因となり、逆に早刈りは青未熟粒が発生し、品質・食味の低下を招きます。

また、例年より葉色が薄い場合や水が不足している圃場でも成熟期が早まる可能性があるため、刈り遅れにならないように注意しましょう。

高温による  
緊急営農情報

### ●刈取時期の判断について

水稻の刈り取り適期の判定は、一般的に出穂後の日数による判断と、**帯緑色籾歩合**による判断があります。出穂後の刈り取りまでの日数は各品種で違うので注意しましょう。また、天候不順や高温など天候によっては刈り取りまで日数に大きく影響を与えるので、登熟ムラの可能性が高くなります。出穂後日数は大まかな目安に行い、登熟をしっかり確認（「**帯緑色籾歩合15%\***」）し収穫しましょう。

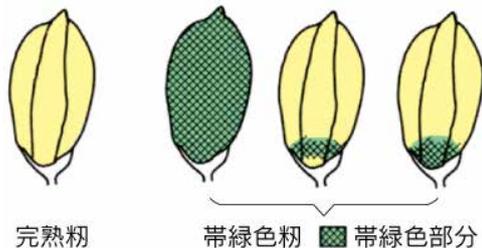


○内が帯緑色籾  
(平均的な株の長い穂を見る)

表 出穂から刈り取りまでの日数の目安

品 種	ふさおとめ	ふさががね	コシヒカリ	粒すけ
出穂後日数	33日	37日	38日	38日

※出穂期後が高温だと上記日数より3～5日程度早まります。



完全熟籾 帯緑色籾 帯緑色部分

図1 帯緑色籾の見分け方

**帯緑色籾歩合**  
とは

籾に少しでも緑色の部分がある籾の割合のこと。  
帯緑色籾歩合15%の時に収穫を行います。

### お知らせ

J A全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。

身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

### アグリ情報“ちば”に係る 個人情報の取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報、は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用いたします。

**JA全農が提供するラジオ番組**

**ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN**

**Tokyofm**  
Life time audio 80.0

13:00～13:55 毎週 **生放送**  
全国の農畜産物をプレゼントします。

15:50～16:00 毎週 **生放送**  
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

SCHOOL OF LOCK!  
THURSDAY 23:00

**農業部**

Supported by **全農**

23:00～23:06 毎週 **生放送**  
農業について一緒に楽しく学びましょう。

発行/全国農業協同組合連合会千葉県本部 令和7年7月15日発行(毎月1回15日発行) 通巻第181号  
編集・発行部署/管理部 総合企画課  
〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6 電話043-245-7360 FAX043-247-9715

「アグリ情報ちば」の宛名・送付先の変更や送付の停止をご希望の方は、J A全農ちばホームページのお問い合わせページにご住所・お名前を明記のうえご連絡ください。  
新規お申込みをご希望の場合は、お電話にて承ります。

送付先の変更・停止



JA全農ちば  
公式HP



JA全農ちば  
公式Instagram

